



「感謝して」

感謝は愛です。ポジティブエネルギーを引き寄せ、幸福な未来を創造するのを助けます。ある対象へ同調・協調するエネルギーです。「ありがとウパワー」について知っていますか。魂の糧になります。

「業をはげめ」

これは、与えられた仕事に励みましようという事でもありませんが、ここである「業」とは、生まれる前に描いた“生命の地図/ブループリント/パースビジョン”で設定した今世での“成し遂げたいこと”であり、それに集中し励みなさいという意味に私には感じられます。真の幸福や豊かさは、本来のあなたが生きてこそ味わえるものです。靈氣シャワーの中の瞑想で高次元の存在と繋がり、あなたの靈的な目的を見極めてみてください。

「人に親切に」

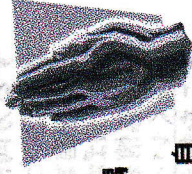
文字通りでもありますが、あなたも私も人も万物も地球も宇宙も、全てはひとつに有機的につながりあり存在だから、ワシネス/ひとつ。“人に親切にする”とは、自分を大切にすること。世界に影響を与え、地球や宇宙に変化をもたらします。あなたの愛の雫が、宇宙へと広がり、宇宙の光があなたの中に宿ります。あなたの幸福な未来は、宇宙の未来です。

臼井氏の悟り：

「私の内に光明（宇宙全体）が存在し、

光明（宇宙）の内に私が存在する」

大宇宙と小宇宙である私とは、一体である。



五戒は、非常にシンプルながらひとつの真理を説いていると思います。レイキ皿を伝授されてから、にわかにこの五戒が私の人生に光を当てはめ始めました。皆さんも自分自身で「五戒」があなたに話しかけてくるのを体験してみてください。もし、今はピンとこないとしても、心の片隅に留め、耳を済ませ、心の扉を開きましよう。心配やストレスが去り、安心と信頼が訪れ、自らを生かし、幸福を招きます。

治療に当たられました。大変盛況だったそうです。

臼井氏の死の一年前大正 14 年、二代目の林忠次郎氏(1879 - 1941)が東京の信濃町で「ハヤシ・クリニック」を開設し、治療と靈氣の普及に努めました。

そんな折の昭和 10 年、ハワイから難病を抱え余命の宣告を受けた日系アメリカ人の高田ハワヨ氏(1900 - 1980)が縁あって林氏の靈氣治療を約八ヶ月間受けたところ、完治しました。感激した高田氏は自らも靈氣実践者となりしばらく林氏の元で学んだ後、ハワイにてクリニックを開設し、治療に専念しました。亡くなる 2, 3 年前から伝授を行ない始め、80 歳で死去するまで 22 人のティーチャーを育てました。そこから世界に靈氣が広まってゆきました。

日本では戦後、靈氣療法はすっかり息を潜めていましたが、1980 年代後半に海外からの逆輸入という形で日本でもレイキブームが起こり、大勢の人に再び知られる様になりました。

今レイキは、世界に広まった「西洋式レイキ」、臼井氏当時の伝統を守る「伝統靈氣」、東西の靈氣療法を再構築した「現代靈氣」をはじめ、各マスターたちが手を加えて独自の靈氣療法を編み出し、良くも悪くも選択の幅が広がっています。

本日、私は「西洋式レイキ」を伝授します。しかし、流派にこだわることなく創始者・臼井氏の理念の下、靈氣は一元であるという考え方を支持します。大事なものは形ではなく心。今日からあなたも靈氣療法と共に意識を上げ、「安心立命」の境地に近づき、自分の人生“ワクワク”を楽しみましょう。

